



クローズアップ  
CLOSE UP

駅前からにぎわい創出

JR前橋駅前のケヤキ並木通りで9月8日、けやき並木ストリートフェスを開催しました。3車線を歩行者天国にした初の試み。公共交通を紹介するエリアやワークショップなどで遊べるエリア、飲食を楽しむバルストリートなどが並び、たくさんの人でにぎわいました。



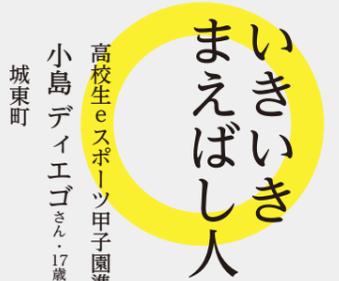
視察報告と今後を議論

9月12日、シンポジウム「ミシュラン都市加盟の先にあるもの」を開催しました。市長による6月のフランス視察の報告や、ミシュラングループのシニアアドバイザーとジェット口群馬の所長を交え、パネルディスカッションを実施。加盟を通じたまちづくりを議論しました。



前橋製糸所に思いはせ

来年、藩営前橋製糸所が創業150年を迎えるイベントとして、シルクサミットを開催。約200人が参加しました。同製糸所の責任者だった速水堅曹の子孫・速水美智子さんら5人のパネリストが登壇。スイスやイタリアとの関係性などの調査結果を報告し、意見交換しました。



高校生eスポーツ甲子園準優勝  
小島 デイエゴさん・17歳  
城東町



次世代スポーツ競技で活躍

同級生と挑んだeスポーツの全国大会「STAGE...0 (「フォートナイト」部門)」で小島さんは準優勝に輝いた。eスポーツとは電子機器で行うゲームをスポーツ競技として捉えた際の呼び名で、アジアオリンピックの正式種目に決定するなど世界で注目を集めている競技だ。

「日本ではまだあまり普及していません、高校生が対象の大きな大会は初めてでした」ポイント制で競うこの競技。予選はオンライン上で実施し、上位40組が千葉県で行われた決勝大会に進んだ。

「予選で1位を取っていたので自信がありました。会場には友達も応援に来てくれましたし。むしろ、表彰式の時のほうが緊張しました」

自信を持って挑めたのは日々の訓練があつてこそだ。「平日は毎日4から5時間くらいをゲームの時間に充てています。長時間やり続けるには体力をつけることも大切なのでランニングをすることもあります。プロの世界では体調管理も大切なですよ」

将来はゲームを作成する仕事をしたいと話す小島さん。「自分の好きなジャンルで、ゲームを作れたらいいですね」ゲームへの愛情が夢への一歩につながっていく。

● 廃校を身体表現の場に  
萩原 (以下H) 芸術の3要素には、描写・再現・身体がある。前橋には美術館と文学館があるけど、身体芸術を専門に扱う場所がないよね。

住友 (以下S) 実験的にいろいろ試せるような場所があったら面白いんですけどね。

H どこかの体育館で照明の機構を組んで演劇をやるとか。

S それなら、市内の廃校を身体表現の場にしたらいいと思いますよ。東京の巣鴨で、廃校の体育館で演劇をしていた例があつて。鉄パイプを組み合わせて、大きなコストをかけずにできたようですよ。

H 京都芸術センターも廃校を活用している。こういうのを前橋でもできたら面白いね。

S 廃校を売ってマンションに変えるより、そのままの形で生かした方が絶対良いですよ。みんなの記憶に残せるし、ここは学校だったんだよって子どもたちに伝えられる。

H 元々が学校だから、広い校庭もあつて車もたくさん置けるよね。

S そうですね。車を置く場所の問題がないのも魅力です。学校には家庭科室もあるので、非常に使い勝手がいいんです。教室ごとに最初から部屋が分かれているのも利点の一つで、そのままアトリエとして使えます。

H 廃校を身体表現の場に活用するのって、名案かもしれないね。

(12月1日号へ続く)



前橋文学館  
027-235-8011

